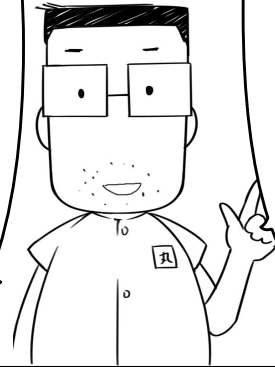
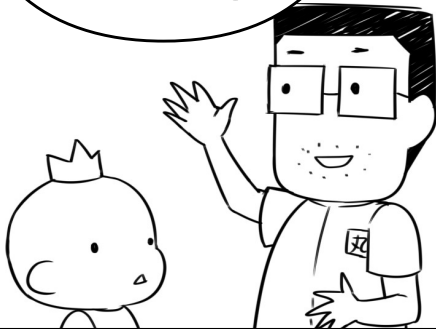


デパートの開店時間を待つ
お客さんみたいだね

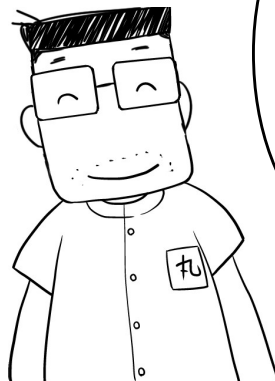


そして時間がきたら
待ってましたとばかりに
自分の家に入ってくるってさ

ぼく自身も
お寺でお祈りを
していた時
ぼくの周りを
グルグル回る
存在を感じた

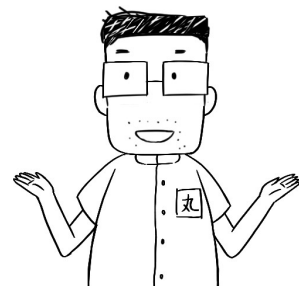


そばに
お坊さんがいたので
聞いてみると
その存在はその日が
命日の人だったさ
ぼくみたいな
感じる人がきたのが
うれしくてぼくの
まわりをグルグル
回っているって



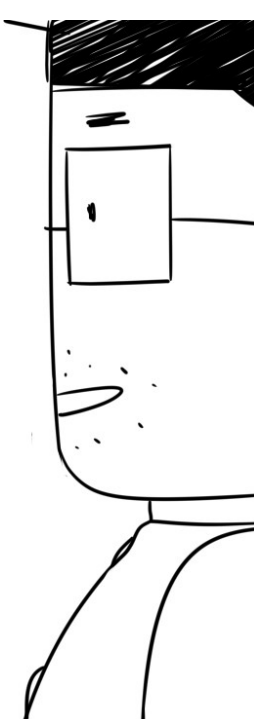
こういった事からすると
死ぬと消滅するんでなく
別の世界に生まれる
事じゃないかって思う

そしてお盆や
正月などには
別の世界から
この世界に
戻ることが
許されている




「せくろろは続くくろよろ
どろこまろでくもろ」
っていう歌があるだろ
あの歌みたいに
人の意識は永遠に
生き続ける





だからと言って今の「生」を
軽んじていいと言っているわけではない
この世は実在しないって
言っているわけでもない

もちろん
違う世界へ行くことへの
不安もあるけど
その不安って
幼稚園から小学校に
上がる時の不安と
同じ程度だと
ぼくは思っているんだ



ガンでどんなに辛くても
この世にいる限りは
せいっぱいこの世で
生きることが何より大切だ
次の代があるからといって
今いる世界から逃げようなんて
してはいけないような気がする